

言語活動の充実に関する実践事例

学校名(尾道市立長江中学校)

- ① 教科等 国語科
- ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 手紙を書こう～伝え方を考える～
- ④ 本時の目標 手紙の書式を意識して小学校の恩師に近況報告の手紙が書くことができる。
- ⑤ 学習の流れ (2時間目/全2時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時のねらいを確認する。	・意欲的に手紙が書けるように、小学校時代の思い出を想起させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の書式を理解し、実際の手紙に活用している。 〔書く能力〕 (手紙, 自己評価表)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 小学校の恩師の先生に近況報告の手紙を書こう </div>		
2 手紙の書式について、前時の学習を確認する。	・「前文」「主文」「末文」「後付け」といった基本の書式を、資料プリントをもとに想起させる。	
3 各自のノートに書式にそって下書きする。	<ul style="list-style-type: none"> ・時候のあいさつは、最近感じる季節感を表現させる。 ・具体的な内容を考える手立てとして、中学校生活の写真やビデオの提示、小学校の先生が知りたい内容についての班討議などを組み入れる。 ・交流は1人1分以内で班員に伝えられるように時間を指示する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○前文については資料プリントを参考にして書く。 ○主文は現在の中学校生活の中から一番伝えたい内容を絞ってまとめる。 ○班の中で交流する。 		
4 清書する。		
5 本時の学習を振り返り、まとめをする。		

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- 社会生活に必要な正しい形の手紙を書くことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 実際の場면을想定した手紙を書かせる。